

S1DXM-A/Mマルチレンジタイマ、S1DXタイマ使用上のご注意

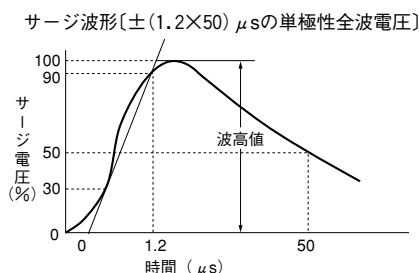
■ 休止時間について

限時動作完了後または限時動作中にタイマの操作電源を切った場合、休止時間は0.1秒以上とってください。

■ 使用限界

〈電源重畳サージ保護〉

電源重畳サージが下記を超えると、内部回路が破壊することがありますので、サージ吸収素子をご使用ください。サージ吸収素子には、バリスタ、コンデンサ、ダイオードなどがありますが、ご使用の際には、オシロスコープでご確認ください。



機種	サージ電圧(波高値)
AC100-120V、AC200-220Vタイプ	4,000V
DC12V、DC24Vタイプ	1,000V

本体カバー、ツマミなどはポリカーボネート樹脂製ですから、メチルアルコール、ベンジン、シンナーといった有機溶剤や、アンモニア、苛性ソーダなどの強アルカリ性物質、塩酸などの強酸性物質の付着やそれらの雰囲気でご使用は避けてください。

■ 端子結線

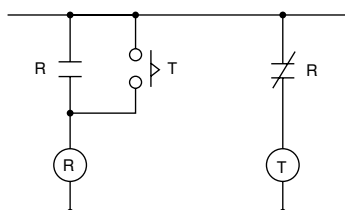
端子結線は端子配列・結線図を参照の上、間違いなく確実に行ってください。特にDCタイプは有極性ですから、逆極性では動作しません。

■ 取り付け時

- 1) 取り付けは、HC・HJリレー用端子台またはソケットにて行ってください。隣接取付条件などは、ご使用になる各端子台またはソケットの取付条件を確認して行ってください。
- 2) タイマ本体と端子台、ソケットの固定には、別売の専用止めバネをご使用ください。専用止めバネは、ご使用の端子台またはソケットによりご使用条件が変わってきますので実機でご確認の上ご使用願います。
- 3) もし、端子に直接はんだ付けをされる場合は、手付けはんだ(コテ先温度300℃、3秒以内・はんだコテ30~60W相当)を行い、自動はんだは避けてください。
- 4) 本タイマは、フラックススタイト構造になっていませんので、本体ケース内にフラックスや洗浄液が侵入しないようにしてください。
- 5) 特性を維持するため、ケースははずさないでください。

■ 連続通電について

長時間連続通電しますと、内部発熱により電子部品が劣化しますので、リレーと組み合わせて使用し、長時間連続運転することをご避けください。(連続して通電する安全回路などにご使用の場合は、下記回路図をご参照ください。)



■ 交流負荷開閉における位相同期について

タイマ出力接点の投入が交流電源位相に同期する場合は、電気的寿命の低下や接点溶着あるいは接点転移によるロッキング現象(接点復帰不良)の発生することがありますので、実機での確認を行ってください。

■ CEマーキング対応について

EN61812-1に適用する用途にご使用の場合には以下の条件の下でご使用ください。

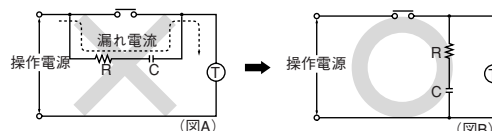
- 1) 汚染度2、過電圧カテゴリ II (2cタイプ)。
汚染度1、過電圧カテゴリ II (4cタイプ)。
- 2) 出力接点に接続されている負荷は、基礎絶縁されたものを接続してください。
本タイマは、基礎絶縁を確保しており負荷の基礎絶縁と合わせて、EN/IECで要求される2重絶縁が確保できます。
- 3) 印加される電源はEN/IEC規格に適合した過電流保護装置(例えば250V 1AのFuseなど)により保護されているものにしてください。
- 4) 取り付けは、必ず端子台、またはソケットをご使用ください。
通電中は端子部などタイマ本体に触れないでください。取り付け・取り外しの際は、全ての端子に電圧が印加されていないことを確認してください。
- 5) 本タイマを安全回路に使用しないでください。例えば、ヒータ回路などにタイマを使用する場合は、機械側に保護回路を設けてください。

■ 適用規格

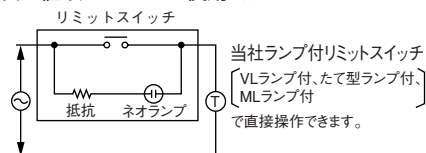
安全規格	EN61812-1	汚染度2/過電圧カテゴリ II (2cタイプ) 汚染度1/過電圧カテゴリ II (4cタイプ)
EMC	(EMI) EN61000-6-4 放射妨害電界強度 雑音端子電圧 (EMS) EN61000-6-2 静電放電イミュニティ	EN55011 Group 1 Class A EN55011 Group 1 Class A
	RF電磁界イミュニティ	EN61000-4-2 4kV接触 8kV気中 EN61000-4-3 10V/m AM変調(80MHz~1GHz) 3V/m AM変調(1.4~2.0GHz) 1V/m AM変調(2.0~2.7GHz) 10V/m パルス変調(895MHz~905MHz)
	EFT/Bイミュニティ	EN61000-4-4 2kV(電源線) 1kV(信号線)
	サージイミュニティ	EN61000-4-5 1kV(電源線)
	伝導性ノイズイミュニティ	EN61000-4-6 10V/m AM変調(0.15MHz~80MHz)
	電力周波数磁界イミュニティ	EN61000-4-8 30A/m (50Hz)
	電圧ディップ/復帰 電圧変動イミュニティ	EN61000-4-11 10ms、30%(定格電圧) 100ms、60%(定格電圧) 1000ms、60%(定格電圧) 5000ms、95%以上(定格電圧)

■ その他

- 1) 時間設定は、文字板の目盛範囲内でご使用ください。文字板中の「ゼロ」目盛は、制御時間の変えられる最小時間(ゼロ秒ではありません)を表示しています。
- 2) ツマミはストッパー以上回さないでください。
- 3) S1DXM-A/Mマルチレンジタイマのディップスイッチの切替は、電源を切った状態で行ってください。通電中に切替を実施すると故障の原因となる場合があります。
- 4) 操作電源を接続する場合、タイマに漏れ電流が流れ込まないようにしてください。例えば、接点保護を行う場合、図Aのように行くと、CRを通して漏れ電流が流れ込み、誤動作を起こすことがありますので、図Bの結線をしてください。



ただし、下記ACタイプにおいて動作表示付有接点スイッチ(ランプ付リミットスイッチなど)でタイマに電源を印加する際は、ランプ直列抵抗を次の値以上にご使用ください。



機種	ランプ直列抵抗値
AC100-120Vタイプ	33kΩ以上
AC200-220Vタイプ	82kΩ以上